

日本共産党浦和区後援会ニュース  
2015年9月号 51  
浦和区北浦和3-14-16  
TEL/FAX 048-833-4515  
\*\*\*\*\* (部内資料) \*\*\*\*\*

# うらわ宿

## 近現代史研究者 柳沢遊教授に聞く

安保法制関連法案の参院での審議が大詰めを迎える中、編集部では、日本近現代史を専攻する柳沢遊慶應義塾大学教授(浦和区在住、浦和北九条の会代表)に 大学における学者、学生の反対運動の動向、安保関連法案の特徴、70年談話の問題点などをテーマにインタビュー形式で話していただきました。

### 安保関連法案に反対する学者は13500人を越え、100以上の大学で反対声明！

まず大学での反対運動ですが、8月24日現在ですでに100を越える大学で、安保関連法案に「反対する会」、「憂慮する会」などの名称で有志の会が立ち上がっています。たとえば東大では各界で活躍している卒業生を含め776人が賛同しその多くが個性的なコメントを寄せています。早稲田大学では格調高い反対声明に2739人の研究者・卒業生などが賛同し、慶応大学は538名が福沢諭吉を引用した声明文に賛同、京都大学でもすでに2220名が「自由と平和のための京大有志の会」に賛同しています。有志の会には、呼びかけ人と賛同者という二重スタイルのもと、慶応大学のように全て声明文への賛同人のみ署名というフラットな形もあります。各大学の声明には、それぞれ特徴があって、建学の精神にもとづく法案反対、第二次大戦に協力してしまった自己の大学の反省のもとづくものなどがあり、声明への賛同以外に、国際学部や平和学をカリキュラムに持っているキ

リスト教系大学のようにいち早く学生と共同で学習会や国会前行動の企画を行っているものなど様々です。

### 「学問の自由」の根幹にかかわる

各大学の運動の先鞭をつけたのが、60人の多様な学者が呼びかけた「安全保障関連法案に反対する学者の会」ですが、賛同した学者は13500人を越えています(24日現在)。これは驚くべきことです。これまで独法化をのぞいて数十年間政治問題に沈黙を続けてきた大学教員の人たちが、誰にも言われることもなく、自発的に「学者の会」に名前をつらねて、しかも自分の大学でも「有志の声明」を次々にたちあげていったのです。それは、今回の事態が永田



インタビューに  
応じる柳沢教  
授(8/26  
さいたま市内)

町の問題でなく、「学問の自由」「思想の自由」の根幹にかかわることであり、安倍内閣の人文社会系学問の再編・縮小政策と一体のものとして把握され、おそらく4年ぶりに安保関連法案に反対しているのだと思います。

### SEALDs(シールズ)の反対運動もますます広がる！

同じようなことが、学生の活動、SEALDs(自由と民主主義のための学生緊急行動)についても言えます。初めは1000人前後だった国会前の集会参加者が今では最大で5万人規模まで数えるようになりました(強行採決の後など)。

### うらわ宿文芸

#### 狂歌

靖国へ  
御霊詣りは  
永久なれど  
アジア侵略  
詫びは終いと



(東口・さぶ老)

#### 川柳

戦争法総がかりなり夏の陣  
究極の利己主義陰謀で株の詐欺  
猛暑日はアウトレットに避暑通い

(東口・さぶ老)

8・30浦和区集会には雨の中34人が参加しました。写真はスピーチする鳥海としゆき市会議員



#### 9月の駅頭宣伝活動

- 7日(月) 与野駅東口 7:00~8:00
- 8日(火) 北浦和駅東口 17:00~18:00
- 11日(金) 北浦和駅東口 7:00~8:00
- 14日(月) 北浦和駅西口 7:00~8:00
- 18日(金) 北浦和駅東口 7:00~8:00
- 25日(金) 北浦和駅東口 7:00~8:00
- 28日(月) 浦和駅東口 7:00~8:00

#### 編集後記

2015年8月30日は、国民主権をないがしろにする権力者に対する国民の大きな怒りが示された日として歴史に残るものとなりました。戦争法案に反対する国会包囲12万人、全国1000カ所以上で数十万人の憲法守れ、九条壊すな、民意を聞けという憤怒の声が全国を覆いました。私は「国会まで行けない、浦和で何か計画はないのですか」という声に、多くの人がこの行動に参加できることが、この行動の大切な意義と考え、浦和駅東口でスタンディング行動をする準備に参加し、34名の方と抗議行動をしました。翌日のしんぶん赤旗に掲載された写真、国会議事堂正面前の道路を埋め尽くした人の群れ、怒りのコールは雨雲を突き破り天に響くが如く、そしてインタビュー記事に胸が熱くなりました。弁護士・学者・研究者、文化人、学生、子育てママ、戦争体験者等、世代を超えた運動の広がりに日本の未来を見ました。このパワーをより高め、つなぎ合い、何としても戦争法案を廃案に追い込み、安倍政権を退陣させたいと改めて思いました。その一環として、浦和区で進んでいる「戦争する国づくり」に反対する9・12浦和区集会」を成功させたい。「うらわ宿」読者のみなさん、集会・パレードの成功で安倍政権の暴走をストップさせましょう。

(努庵)

### 街角から・・・ メンチカツが美味しい！

元南児童相談所(現在、公園予定地として更地)近く、天王川遊歩道脇の領家1丁目7-17番地にあるお肉屋さん。昼時、また勤め帰りの時間、店の周り、近くの路上には、自転車・車がよく止まっている。揚げ物・お惣菜はみんな自家製。「メンチカツが美味しい」と聞き、私も食べてやみつきになった。ソースなしで、何とも言えないうまさ。コロケもいろいろあり、男爵やカレーコロケがお勧め。「揚げたてを提供する」が信条とお店のご主人。惣菜もいろいろあり、「忙しい時など大変重宝しています」と買物中のある主婦の方。牛肉は九州産、豚肉は茨城産、手ごろな値段で美味しい。(針谷)

#### 「ミートショップかねこ」

TEL 048-886-4040

営業時間：AM 9:00 (11:00)

～ PM 7:00 (6:00) (揚げ物)

### \* 耳より情報 \*

9月12日(土) 午後4:30～

「戦争する国づくりに反対する9・12浦和区集会」

場所：県庁東門前 集会・リレートーク、浦和駅までパレード

9月14日(月) 映画上映会「戦場ぬしみ」

場所：埼玉会館小ホール

10:30 14:00 18:30

9月20日(日) 午前10:00～

しんぶん赤旗全国囲碁・将棋(赤旗名人戦)

さいたま地区大会

場所：さいたま共済会館

( 1面より )

もちろんその中には学生だけでなく、専門学校生、失業者、サラリーマンなど多様な人々も含まれています。国会前で、学生のコールを聞いたことがあります、その中に「民主主義って何だ」というコールが大変印象的でした。この表現には、4年に一度の選挙で投票するだけでいいのか、多数党の論理が破綻しても、法案通過を認めていいのか、70年かけて築き上げてきた立憲主義の精神を2015年に終わらせていいのか、という根本的な問題提起が含まれています。しかも、学生のスピーチには自分の政治への思いを「日常の言葉」によって話すという特徴があります。代表の奥田さんの発言を聞いていて感じるのは平和な生活の大切さを自身の生の声で表現していることが特徴です。

### 米国の圧力下での「日米ガイドライン」にそったもの

集団的自衛権については元米国務副長官のアーミテージが、日本に3回にわたって圧力をかけています。それは、日本国憲法の範囲内でアメリカ軍事行動の後方支援を中心とした集団的自衛権の行使を世界各地で行わせようという内容です。すでに2000年、2007年そして2012年と3度にわたってアーミテージは対日圧力をかけつづけてきました。この法案はまさに日米ガイドラインに沿った法案で、完全にアメリカベースですすめられているのです。不安定な中東情勢の中、アメリカの期待に応じてこの集団的自衛権をミッションとしたのが安倍内閣です。しかし今や中東情勢は集団的自衛権の行使を受け入れるような状態なのかを考えねばなりません。多くの専門家はそうではないと言っているからです。たとえば、伊勢



崎賢治氏は8月12日の毎日新聞で、集団的自衛権はもはや過去のもので、今は「グローバルコモンズ」というべき歴史段階であるとのべています。また東京外語大の黒木英亮教授は、反対声明をあげた多くの中東研究者のひとりですが、中途半端なことしかできない米国に追随して後方支援をやるものならば、日本もまた完全に紛争にまきこまれるということを知識すべきだ、と述べています。言いかえればイスラム国などのテロ集団に日本国内での攻撃の口実を与えるだけのもので危険なものだということです。こうした危険な法案は廃案しかありません。

### 指摘しておきたい安倍談話の問題点

8月14日のいわゆる安倍談話では、もう少し安倍色が出るかと思いましたが、北岡座長などの進言もあって、村山、河野談話を引き継がざるを得なくなってしまうというのが特徴です。しかし、この長い談話を読んでみると様々な問題点があります。多くの方が問題点を指摘していると思いますが、私はまだまだ語りだされていない問題点を1点だけ指

摘しておきたいと思います。談話の初めの方に次の箇所があります。「・・・しかし、世界恐慌が発生し、欧米諸国が、植民地経済を巻き込んだ、経済のブロック化を進めると、日本経済は大きな打撃を受けました。その中で日本は、孤立感を深め、外交的、経済的な行き詰まりを、力の行使によって解決しようと試みました。・・・中略・・・こうして、日本は、世界の大勢を見失っていきました。・・・」

関東軍は1931年9月に満州事変を起こし、翌年に侵略を拡大させて傀儡国家の満州国を作ったのです。まさに、日本が世界に先駆けて、不戦条約をやぶって、日満ブロックにつき進んだ。イギリス帝国がブロック経済に入るのは、世界に繰り広げられた「ソーシャルダンピング」という日本の低為替下の輸出攻勢への対応策としてであり、オタワ会議後のことでした。つまり軍国主義に傾斜した日本が率先して日満ブロックを形成していったことが、世界史の常識なのです。列強のブロック化によって日本は経済的に孤立し、国策をややまって、戦争に至ったという珍解釈は、歴史の基礎的な史実さえ学んでこなかった安倍首相の反知性主義を象徴的に示す歴史認識といわざるをえません。



8・30国会包囲。国会前でコールする学生たち

### 埼玉平和美術展を振りかえって

酷暑の中、49回埼玉平和美術展が終戦記念日を入れて、6日間、県立近代美術館で開かれました。今回は、出品者127名、出品点数318点、観覧者約2500人でした。

この会は、49年前に世界の平和を願って創立されました。この平和展は、審査はありません。規約に従って、3点まで6,000円、1点は4,000円で出品できます。美術愛好家が気楽に出品できる県内唯一の公募展です。私は、第11回頃からの出品ですが、創立当時の方は、今は70代以上になり、出品者も高齢者が80%以上になっています。若い方に積極的に参加してほしいと願っています。

今年の特別展示(作家研究のため、2人の作家が20~30点ずつ展示する)は、マン画家の遊佐さんと、画家の峠さんでした。その作家研究会には、30名程の出席があり、それぞれの作家が、何故、創作を始めるようになったのか等、作品の解説と合わせて報告されました。峠さんは、岩手の東日本大震災で、親を亡くした子ども達の支援に、似顔絵を描いて募金をしていました(会場の一隅で)。子どもから大人まで、多くの方がモデルになってくださりました。展示作品については、合評会があります。作者から、一言、何を表現したかったのか等述べてもらい、それに、合評会参加者から、その作品への感想や質問が出ます。それらを通して、出

品者同志交流し合います。人それぞれ感性が違い、見方もいろいろあり、様々な感想を聞くことで、出品者は自分の作品を新しい目で改めて見直すことで創作意欲が沸いてくるのだと思います。

来年は50回記念展を迎えます。よく、これまで続けてこられたと思います。創立会員を始め、多くの出品者や観覧者、これまで後援いただいた県や教育委員会他様々な団体のお蔭だと感謝しています。これからも意義のある内容の豊かな展覧会をめざして努力したいと思います。(領家/高橋俊彦)



### 平和のタネを蒔けたかな 柴田県知事候補の応援

この夏、8月9日投票で行われた埼玉県知事選挙は、私にとって、いつもとひと味違う貴重な出来事になりました。私の職場の代表(議長)・柴田泰彦さんが「民主県政の会」から立候補したからです。私が働く埼玉県労働組合連合会(埼労連)は「民主県政の会」の構成組織で、諸要求の実現(賃金引き上げ・労働条件改善、社会保障制度の充実、今は特に集団的自衛権行使容認反対や戦争法案阻止など)で幅広く活動する労働組合です。「柴田さんが知事ならいいなあ」と一県民としてもワクワクしました。期間中は、真っ黒に日焼けし気迫を増す柴田さんの演説を何度も聞きに行きました。公約の柱「戦争法案反対」は、県民の命・暮らしを守る揺るがない決意として多くの信頼を集めたと思います。私は、人に勧めるのが大の苦手ですが、今回は、投票権を得たばかりの娘、よく行く飲み屋の店長、職場に来る運送屋さんなどに思い切って声をかけました。「多選はダメ」「柴田さんいいね」「共産推薦じゃキビシイのでは」「安倍さんの暴走はやバイ」など色々な声があり、ふだん政治ネタで話さない人と気負わず話すきっかけになった選挙でした。上田県政逆転とはいきませんでした。政治を変え平和を守るタネを少し蒔けたのかなと思っています。(岸町・橋本さやか)

### 芝川の水質調査が実現

今年の4月に、上木崎7丁目の日曜版読者であり後援会二ユース読者のNさんから相談を受けました。その中身は、知人のWさんが、「芝川がD社からの排水で泡立っている所があるので水質検査をして欲しい」と言っているとのことでした。地域でも話し合い、鳥海市議と相談し、現地調査も行いました。Wさんから写真の提供があり、8月11日、鳥海市議が仲立ちで、市の環境対策課長と水質土壌係主査とNさん、Wさんと一緒に懇談しました。要望に対して課長から、「D社については年2回抜き打ちで水質検査を行うて

おり、今まで基準値を超えたことはなく有害物質は発見されていなが至急立ち入り検査を実施する」との回答がありました。懇談した当日の午後、調査が行われ、「泡の発生原因は界面活性剤で、臭気はプールや上下水道の殺菌消毒に使われる次亜塩素酸ソーダが含まれているため、安全性については特に問題ないが今後とも立ち入り検査により排水設備の適正管理と排水基準の遵守を確認していく」との調査結果をNさんとWさんに届けることができました。(木崎・影山哲夫)

